

[09\_4] 図書館情報 : 九州大学附属図書館月報 :  
9(4)

<https://doi.org/10.15017/18283>

---

出版情報 : 図書館情報. 9 (4), pp.19-24, 1973-04-25. 九州大学附属図書館  
バージョン :  
権利関係 :

## フリードリヒ・エンゲルス生誕150周年記念出版について

柳 春 生

1973年11月28日は、マルクスのもっともよき友であり、「資本論」第2巻、第3巻の編纂者として知られている、フリードリヒ・エンゲルス生誕153周年にあたる。1970年が150周年であったが、この年から昨年までに主としてドイツ、ソ連において多くの記念出版が刊行された。1970年11月ソ連共産党機関誌「コムニスト」は、巻頭にエンゲルス生誕150周年を記念する論説を掲げている。いま、これまでの主要出版物を振り返ってみよう。

まず、エンゲルスの伝記であるが、古いが、尨大な充実した内容をもっているのは、Gustav Mayer, Friedrich Engels. 2 Bd. 2 Aufl. Haag Martinus Nijhoff. 1934. である。エンゲルスの伝記は通常マルクスのそれと併べてかかれているのであるが、この書は、エンゲルスだけを特別にとりあげた伝記として評価されている。長く絶版となっていたが、いまは美しい装訂で再版されており、入手できる。同じ部類に属するものとしては、E. A. Степанова, Фридрих Энгельс. があげられる。この書の初版の内容は、邦訳、ステパーノウア著、永住道雄訳「フリードリヒ・エンゲルス」、昭和11年7月、叢文閣、によって知られていたが、ただ戦前の訳文の常として検閲によって切られて伏字になっている箇所が多く、わかりにくい。幸に、原書第2版が1956年に出たので伏字の箇所も読解できる。英語版も出されている。

現在では150周年を記念して出版されたエンゲルス伝としてあげられるのは、つぎの二つである。

- (1) ドイツ社会主義統一党中央委員会附属マルクス・レーニン主義研究所編集, Heinrich Gemkow (Leiter), Horst Bartel, Gerhard Becker, Rolf Dlubek, Erich Kundel, Horst Ullrich, Friedrich Engels. Eine Biographie. Dietz Verlag, Berlin, 1970. この書は大月書店から邦訳、出版されている。なお、1972年にはソ連でも翻訳されている。(2) ソ連共産党中央委員会附属マルクス・レーニン研究所, Л. Ф. Ильчев (Руководитель), Е. П. Кандель, Н. Ю. Колпинский, А. И. Малыш, Г. Д. Обичкин, В. В. Платковский, Е. А. Степанова, Б. Г. Тартаковский, Фридрих Энгельс. Биография. Москва. 1970. である。だが、これらの書はたんなる伝記ではなく、科学的社会主義にかんする思想と行動の歴史でもある。なお、これについては、マルクス生誕150周年を記念して出版された、H・ゲムコー編集 Karl Marx. Eine Biographie. 1967. ならびに、ペ・エヌ・フェドセーエフ編集 K. Маркс. Биография. 1968. と関連せしめて読むことが必要であると認める。ただ、エンゲルス伝の方が内容的にマルクス伝よりもかなりの充実をみせている。また、土屋保男「フリードリヒ・エンゲルス」——若き日の思想と行動——は小著ながらもよくかかれ

ている。

つぎにエンゲルスにかんする研究であるが、この領域での最大の寄与は、Friedrich Engels 1820—1970. Referate. Diskussionen. Dokumente. (Internationale Wissenschaftliche Konferenz in Wuppertal. vom 25—29. Mai 1970.) 1971. であろう。この書の内容は、初期のエンゲルス、エンゲルスと経済学、エンゲルスと軍事科学、エンゲルスとドイツ及び国際労働運動、エンゲルスと哲学及び歴史、というような項目にわかれた諸論文より成っているが、いくつかの未刊の貴重なマニュスクリプトをも収めている。ただ、エンゲルスの国家理論にかんする力作が欲しかった、といえる。しかし、この問題にかんしては、1970年ソ連のロージンの論文「エンゲルスの国家観・法律観の形成」(Э. Л. Розин, формирование Государственно-Правовых Взглядов. Советское Государство и Право. 1970. No. 11.) があげられる。この論文は 鹿児島短期大学の 網屋教授によって訳出されている。(網屋喜行「エー・エリ・ロージン・エンゲルスの国家観・法律観の形成」, 鹿児島短期大学研究紀要, 第8号, 昭和46年10月)

同じく、1970年11月28日—29日 Wuppertal でドイツ共産党によって催された、エンゲルス生誕150周年記念国際理論会議の資料、Friedrich Engels—Denker und Revolutionär. 1971. は、さすがに上記の論文集に欠けている党と国家の問題をよくとり扱っている。

その他、すぐれた研究としてとりあげられるのはつぎの書である。すなわち、エンゲルスにおける弁証法的唯物論と史的唯物論研究の力作としては、М. Т. Иовчука, Ф. Энгельс и Современные Проблемы Философии Марксизма. 1971. Энгельс и Проблемы Истории. 1970. Сборник статей. の2冊がある。つぎに、エンゲルスと第一インターナショナルとの関係にかんする研究としては、かつてすぐれた論文集として、Friedrich Engels und die internationale Arbeiterbewegung. 1962. が出ていたが、こんどはソ連でつぎの書が出版されている。Н. Ю. Колинский, Деятельность ф. Энгельса в Годы I Интернационала. 1971. だが、この領域における最良の業績としては、Horst Bartel, Marxismus und deutsche Arbeiterbewegung. 1970. があげられよう。

最後に、マルクス・エンゲルス全集邦訳の出版状況であるが、全集第20巻が「反デューリング論」と「自然弁証法」を収め、第21巻と22巻とがエンゲルスの晩年の労作を収め、そして、第41巻がエンゲルスの初期著作集となっている。(Marx Engels Werke. Ergänzungsband. Zweiter Teil. 1967.)

## 資料紹介

## 昭和47年度受人欧文参考図書

—中央図書館—

**BIBLIOGRAPHY**

Bibliografia nazionale italiana; catalogo alfabetico annuale, a cura della Biblioteca nazionale centrale di Firenze. Index to Vol. 9-10. Firenze, 1970.

British Museum.

General catalogue of printed books, five-year supplement, 1966-1970. Vol. 10-26. London, The Trustees of the British Museum, 1972.

Cummulative book index; a world list of books in the English language. 1971. Ed. by Nina R. Thompson. New York, Wilson, 1971.

Deutsche Nationalbibliographie. Reihe A, Heft 1-53, 1972. Reihe B, Heft 1-24, 1972. Leipzig, VEB Verlag, 1972.

Japan. National Diet Library.

Union catalog of foreign books. (1968-1970); acquired by 49 libraries in Japan. 1970. Tokyo, National Diet Library, 1972.

The publishers' trade list annual, 1971. New York, Bowker, 1971.

Академия наук СССР

Библиография изданий; ежегодник. Том. 13. Составили О. П. Белявская [и др.] Под. ред. С. П. Луппова. Ленинград, 1971.

**INDEXES & ABSTRACTS**

The engineering index, 1970. New York, Engineering Index, 1971.

Proceedings in print. Vol. 1 (1964)-9 (1972). Mattapan, Proceedings in Print, 1964-1972.

**ENCYCLOPAEDIAS**

Britannica book of the year, 1972. Chicago, Encyclopaedia Britannica, 1972.

Carruth, Corton.

The encyclopedia of American facts and dates. Ed. by Corton Carruth and Associates. New York, T. Y. Crowell, 1971.

Lessico universale Italiano.

Tom. 8-10. Rome, Enciclopedia Italiana, 1971-1972.

The McGraw-Hill encyclopedia of space. Foreworded by M. Scott Carpenter. New York, McGraw-Hill, c1968.

**DIRECTORIES**

Encyclopedia of associations. 6th ed.

Vol. 1; national organizations of the United States. Ed. by Margaret Fisk. Detroit, Gale, 1970.

ISI's who is publishing in science; an international directory of research & development scientist. Philadelphia, Institute for Scientific Information, 1972.

The national faculty directory, 1971; an alphabetical list, with addresses, of over 380,000 faculty members at junior colleges, colleges, and universities in the United States. Vol. 1-2. Detroit, Gale, 1971.

The world of learning, 1971-1972.

22nd ed. London, Europa Pubs., 1972.

**YEAR BOOKS**

China year book, 1971-1972.

Taipei, China Pub., 1971.

Daily mail year book. 1973.

Ed. by G. B. Newman. London, Associated Newspapers, 1973.

Gt. Brit. Central Office of Information.

Britain; an official handbook. 1972 ed.

London, Her Majesty's Stationary Office, 1972.

McGraw-Hill yearbook of science and technology; comprehensive coverage of the important events of 1971. New York, McGraw-Hill, 1972.

New Zealand official yearbook. 1971. Wellington, A. R. Shearer, 1972.

Ежегодник книги СССР. 1968,

Том. 1-2. 1969, Том. 1. Москва, Издательства "Книга" 1971-1972.

**BIOGRAPHY**

Boorman, H. L.

Biographical dictionary of republican China. Vol. 1-5. New York, Columbia Univ. Press, 1967.

Who's who, 1972; an annual biographical dictionary. 124th year of issue. London, Adam and Charles Black, 1972.

Who was who in the USSR; a biographic directory containing 5,015 biographies of prominent Soviet historical personalities. New York, The Scarecrow Press, 1972.

**DICTIONARIES**

English-Russian technical dictionary. Ed. by A. E. Chernukhin. Moscow, Soviet Encyclopedia, 1971.

The Oxford English dictionary. Supplement Vol. 1. Oxford, The Clarendon Press, 1972.

The Oxford Russian-English dictionary. Ed. by Marcus Wheeler. Oxford, The Clarendon Press, 1972.

**LIBRARY & INFORMATION SCIENCE**

Dewey, Melvil.

Decimal classification and relative index. 18th ed. 3v. New York, Forest Press, 1971.

Encyclopedia of library and information science.

Vol. 7-8. Ed.: Allen Kent and Harold Lancour.

Assistant ed.: William Z. Nasri. New York, Dekker, 1972.

**附属図書館商議委員会委員名簿 (48. 4. 1 現在)**

委員長	館長	松	浦	良	平
委員 (文)	教授	永	田	英	一
" (//)	"	春	日	和	男
" (育)	"	遠	藤	辰	雄
" (//)	"	岩	井	龍	也
" (法)	"	吉	村	徳	重
" (//)	"	吉	田	道	也
" (経)	"	秀	村	選	三
" (//)	"	木	下	悦	二
" (理)	"	森			肇
" (//)	"	工	藤	昭	夫
" (医)	"	田	中		潔
" (//)	"	遠	藤	英	也
" (歯)	"	赤	井	三	千
" (//)	"	森	岡	俊	夫
" (薬)	"	浜	名	政	和
" (//)	"	加	藤	敬	太
" (工)	"	田	中	武	郎
" (//)	"	田	町	常	英
" (農)	"	前	川	一	夫
" (//)	"	近	藤	民	之
" (養)	"	白	水		雄
" (//)	"	大	原	長	隆
" (産)	"	中	楯		和
" (生)	"	藤	井		興
					哲

## レファレンス・コーナー

(その23)

——中央図書館情報資料掛——

中央図書館の情報資料掛(電・5310・5317)では、利用者の方々から寄せられてくるいろいろな質問事項の調査を行なっていますが、ごく最近にあった質問のなかから幾つかを、ご参考のためにここに挙げてみることにします。

**質問1** B. A. N. は、なんの略語か。

**回答例** 科学技術文献略語辞典(800/カ/130)で調査。Bulletin of the Astronomical Institutes of the Netherlands.

**質問2** わが国の国民総生産(GNP)は、1968年(昭和43年)にソ連をのぞいた資本主義世界では、アメリカに次いで第2位となった。ここ10年間の主要国のGNPの推移を知りたい。

**回答例** 消費者年鑑'71(365,05/Sh 95)で調査。なおそのほかに、「消費者年鑑」には消費者に関する各種統計類とその詳しい解説が記載されていて便利。

**質問3** アイヌについて調べたいのだが、なにかまとまった文献を教えて欲しい。あまり専門的でないものが望ましい。

**回答例** アイヌ民族誌(アイヌ文化保存対策協議会)上・下巻(367/A/2)が適切かと思われる。そのほかでは、ブリタニカ国際大百科事典(030/B92)の第1巻・アイヌの項が詳しくわかりやすい。なお中央図書館には、アイヌに関する文献がかなり所蔵されている。

**質問4** CaliforniaのCerritos CollegeにGeology Departmentがあるか。

**回答例** American junior colleges.(195/A/18)で調査。地質学部門はない。

**質問5** オックスフォード大学のセント・アヌス・カレッジの住所。

**回答例** World of learning 1971—72(283,8/W69)によると、住所は次の通り。St. Anne's College. University of Oxford. Oxford, England.

**質問6** 洪武通宝について知りたい。

**回答例** アジア歴史事典(635/A/13)、大日本貨幣史(307/タ/1)で調査。明朝初代の皇帝・洪武帝(1328~98)の時代に発行された貨幣。わが国で発行されたものであれば、すべて「大日本貨幣史」に詳しいが外国の貨幣に関しては適当な資料がない。「大日本貨幣史」の1巻(198p)に、「洪武銭」として簡単に出て

いるだけで、元和2年5月(1616年)に、次の六銭のほかは勝手に棄てたりしてはならないと禁令が出ている。六銭とは、大カケ銭、ワレ銭、カタナシ銭、新悪銭、コロ銭、ナマリ銭のこと。そのなかのコロ銭が、洪武通宝のことらしい。

**質問7** セイタカアワダチソウがゼンソクの元凶として話題になっている。戦後北九州地方に急速に繁殖している帰化植物とのことだが、わが国の帰化植物を知るのに、どんな文献があるか。適当な図鑑があったら教えてほしい。

**回答例** 「日本帰化植物図鑑」(長田武正著)昭47、北隆館版が適切かと思われる。帰化植物は、現在その数700種とも800種とも言われている。

**質問8** 火縄銃の撃ち方を詳しく知りたい。

**回答例** 「図解古銃事典」(所莊吉著)雄山閣版で調査。火縄銃の射撃方法が、29葉の写真で詳しく説明されている。なお、この事典には古銃の各種の見どころをはじめ、古銃に関する基礎知識が詳しく述べてある。

**質問9** わが国の税関は、どんな機構になっているのか。

**回答例** 税関百年史・下巻(678.3/O57/1)で調査。巻末に「税関機構変遷図」があり、昭和47年7月改正の機構図がある。その変遷図には、明治4年8月から改正の過程が出ている。なお巻末には、嘉永6年(1853)以降の年表があり、海外諸国との通商に関する重要事項が記載されている。

**質問10** Sixth international congress on rheology, Ryon, September 4, 1972の複写を入手したい。

**回答例** 会議録は、その会議へ出席することのできた者が個人で所蔵している場合が多く、図書館側ではその所蔵状況が容易に把握し難い。参考図書室に、日本学術会議事務局調査課の編さんになる「1972年度開催・学術関係国際会議一覧」がある。それによれば、第6回国際変形流体学会議の連絡先は、Dr. C Smadja/Box 1/19-Lyon-Moucho/France.なので、直接そこへ問い合わせるように回答した。

### 第3回九州地区国立大学図書館協議会

〈とき：昭和48年5月10日 ところ：長崎市グラバー荘〉

11大学より館長・事務長等24名が参加して開かれ、当番館の長崎大学井上館長を議長に選び協議の結果、6月12・13の両日新潟大学において開催の第20回全国国立大学図書館協議会に提出する地区の協議題を次のとおり決定した。

〈地区提出協議題〉

1. 図書館職員を今後の定員削減の対象から除外することについて
2. 参考業務担当職員の増員を全大学図書館におよぼすことについて
3. 図書館の事務長補佐制度について
4. 図書館事務長の管理職手当について
5. 図書館職員の5等級定数の配当増について
6. 図書の不用決定と廃棄について物管法上特別の取り扱いを要望することについて
7. 学術雑誌総合目録の急速な出版を要望することについて

なお、新役員館として、理事館および連絡館に九州大学、理事館に九州工業大学を選んだ。この協議会には、本館から松浦館長・東閲覧課長・小野整理課長補佐が出席した。

### 第24回九州地区大学図書館協議会

〈とき：昭和48年5月11日 ところ：長崎大学附属図書館〉

加盟34館から74名が参加して開かれ、長崎大学の井上館長を議長に選んで議事を進めた。まず、47年度の決算報告および監査報告があり、新年度の予算案を審議し、その後管理・整理・運用の3部会に分れ、夫々次の協議題について審議した。

〈協議題〉

1. 大学の研究体制と大学図書館の開館時間との関連について
2. 国立国会図書館印刷カードの形式を標目未記載カードに改めることを国立国会図書館に要望することについて
3. 貸出方式の省力化について

午後は、永年勤続者の表彰を行なった後、大阪大学附属図書館の浅野整理課長補佐が“図書館業務とコンピューター（大阪大学附属図書館における実例を中心として）”と題して講演を行なった。その後、合同協議に移り新役員館を選出し、明年度の開催地を福岡市に決定した。本館からは、松浦館長・東閲覧課長・小野整理課長補佐が出席した。

なお、本学関係の被表彰者は次の3氏である。小野敏夫（中央図書館整理課長補佐）本多震一（同閲覧掛長）小森栄子（医学分館受入掛）

## ◆ 人 事 異 動

### 図書館職員の異動

48. 3. 17 真 辺 ルミ子 (整理課目録掛) 退職	48. 4. 20 高 田 明 美 (整理課目録掛) 採用
” 4. 20 畠 中 和 代 (閲覧課参考掛) 採用	” ” 21 明 石 和 美 (整理課会計掛) 退職

### 日 録 48.3.21~4.20

3.26 京都大学附属図書館・松井参考掛員来館。	催。於小会議室。
4.2~6 日本物理学会年会、九州大学を会場として開催。当館にて、科学史学界著名のコレクション「桑木文庫」を希望者に展覧。	4.19 国立大学図書館協議会第12回「新しい大学図書館像」特別委員会。於東京大学附属図書館。
4.3 理学部、農学部ともに閲覧業務開始。	4.20 国立大学図書館協議会岸本奨励賞選考委員会。第20回国立大学図書館協議会理事会。於東京大学附属図書館。東閲覧課長出席。
4.12 附属図書館商議委員会小委員会（第1回）開	

九州大学附属図書館月報「図書館情報」Vol. 9, No.4. (通巻87号)

1973年4月25日発行・発行人 中 村 譲

発行所 九州大学附属図書館・福岡市東区大字箱崎 3576・〒811②・電話代表 ㊤ 1101 内線 5301